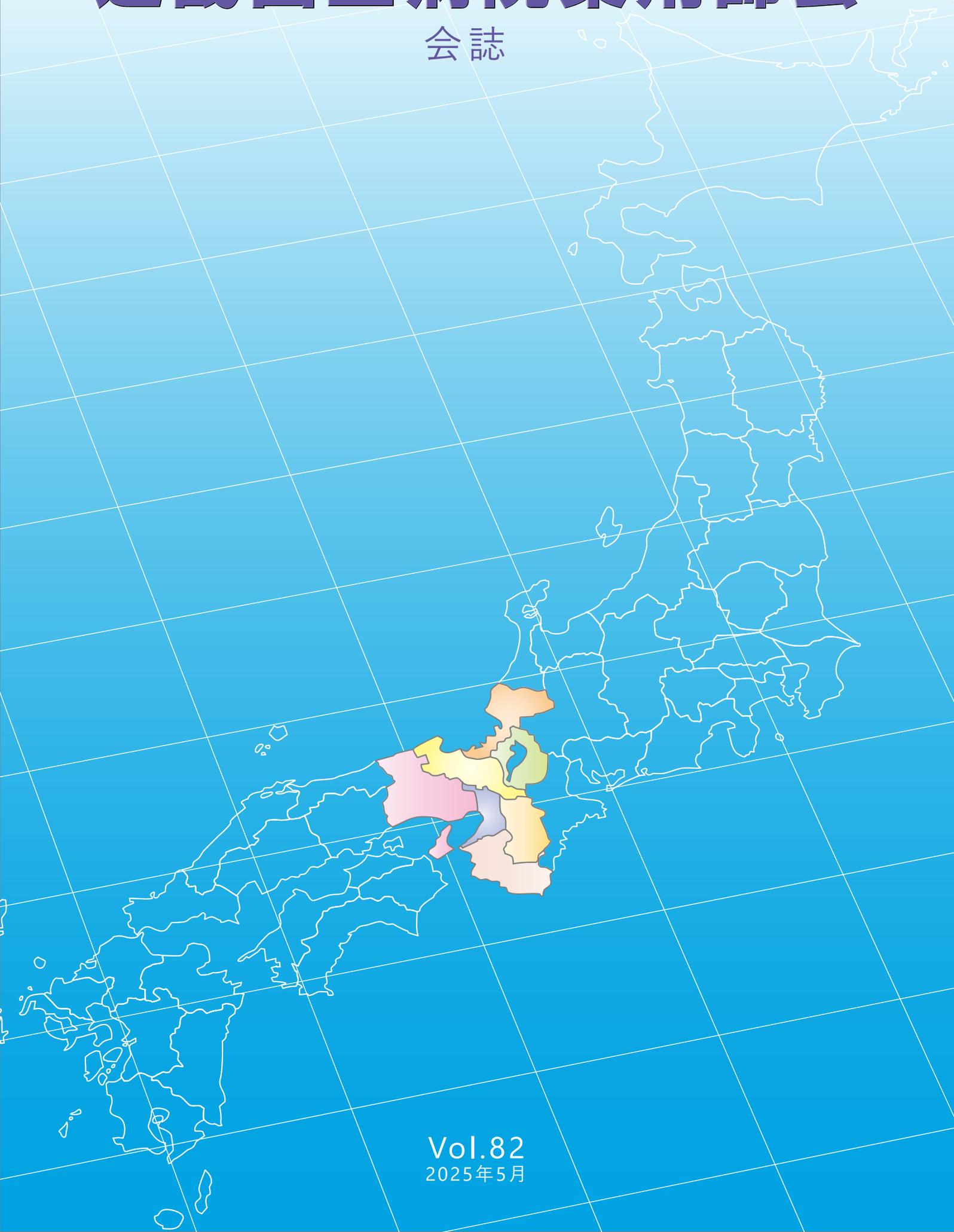


近畿国立病院薬剤師会

会誌



Vol.82
2025年5月

目 次

薬剤部紹介.....	2
	姫路医療センター 松井 尚美
新採用者紹介	5
第 20 回 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 参加報告.....	14
	兵庫中央病院 遠藤 森理
第 20 回 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 優秀賞受賞報告.....	15
	大阪刀根山医療センター 坂田 峯都紀
第 20 回 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 特別賞受賞報告.....	16
	兵庫中央病院 松田 洋佳
第 46 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 参加報告.....	17
	国立循環器病研究センター 若林 智仁
第 46 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 参加報告.....	18
	大阪南医療センター 仲野 真実
第 40 回日本栄養治療学会学術集会 参加報告.....	19
	大阪医療センター 東 里映
私が HIV 感染症専門薬剤師の資格を取得した経緯	20
	大阪医療センター 中内 崇夫
趣味のページ.....	21
	東近江総合医療センター 土江 亜季
編集後記.....	22

薬剤部紹介



独立行政法人 国立病院機構

姫路医療センター

National Hospital Organization Himeji Medical Center



【病院概要】

- 🏯 理念 : 思いやりのある最善の医療を提供し、患者さんと地域、社会に貢献します。
- 🏯 病床数 : 405 床
- 🏯 診療科 : 29 診療科 * []は休診中(令和7年4月現在)
内科・[精神科]・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・[小児科]・外科・
消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・
皮膚科・泌尿器科・[婦人科]・眼科・耳鼻いんこう科・頭頸部外科・
リウマチ科・放射線診断科・放射線治療科・リハビリテーション科・
[麻酔科]・糖尿病内分泌科・緩和ケア内科・救急科・病理診断科・血液内科

姫路医療センターは、播磨臨海工業地帯の中心である姫路市(人口 51.7 万人)のほぼ中央、世界遺産『姫路城』(平成 5 年に世界文化遺産指定)の旧城郭の一角に位置しています。姫路城は「連立式天守」と呼ばれる特徴的な天守と、「白漆喰総塗籠め造り(しろしゅくいそうぬりごめづくり)」というその真っ白な美しい見た目から「白鷺城(しらさぎじょう/はくろじょう)」とも呼ばれており、美しさも防御力も兼ね備えた、国宝・世界遺産にふさわしいお城です。また、周辺及び敷地は特別史跡姫路城跡地域に指定されております。四季折々の姫路城を毎日楽しみ学校、公園、美術館、歴史博物館、図書館等文教施設に隣接した閑静な環境に恵まれています。交通網も山陽、山陰道の要として交通至便な位置にあります。

当院は、1898年(明治31年)に姫路陸軍衛威病院として創設されて以来約127年にわたり播磨地域の中核的病院として地域に親しまれており、地域がん診療連携拠点病院、地域災害医療センター、エイズ診療拠点病院に指定され、地域医療連携支援病院としても承認されています。更に、呼吸器センター、消化器センター、高精度放射線治療センターを設置し、救急医療体制の充実・強化により地域の救急医療体制の一翼を担っていると同時に、安全で低侵襲な医療を提供しています。

【薬剤部紹介】

薬剤部は薬剤部長、副薬剤部長2名、主任5名(調剤主任、薬務主任、病棟業務管理主任、製剤主任、治験主任)、薬剤師16名、薬剤助手7名で構成されています。

病棟薬剤業務では、ICU、HCUを含む全病棟に薬剤師を配置し、薬物療法の資質向上と薬剤師としての専門性を発揮することを目標に、頼られる病棟薬剤師を目指して、日々積極的に活動しています。

院内の各種チーム医療では、ICT/AST、NST、褥瘡、PCT、転倒・転落、認知症ケア、外来化学療法、HIV、糖尿病教室、DMAT等に参画し、他職種との連携強化を図っています。また、外来指導において、がん患者指導管理料ハをはじめ、2024年に診療報酬改定で新設されたがん薬物療法体制充実加算の算定も実施しています。更に入院支援センターでは、手術・検査前中止薬の有無や服薬状況の確認を行い、患者指導や医師・看護師への情報提供を行っています。

地域の活動としては、兵庫県病院薬剤師会西播支部と定期的に情報交換を行い、姫路薬剤師会と他の病院等との連携も図っています。また、薬剤師法第2条の2に規定する変更調剤を可能とする院外処方せんに係る事前同意プロトコルの運用も行っています。これにより、形式的な疑義紹介を減らし、患者の利便性の向上や医師の業務軽減にも貢献しています。また、トレーシングレポートの運用による情報共有を図っています。

目まぐるしく変化する社会の中で、姫路医療センター薬剤部では病院薬剤師としてのスキルアップを目標に、院内外の研修や学会等に積極的に参加し、薬剤師の職能・資質向上に努め、専門・認定取得を目指し、スタッフ全員で取り組んでいます。

(文責 松井 尚美)



新採用者紹介

氏名:林 優成(はやし ゆうせい)

- 施設名:あわら病院
- 出身大学:兵庫医科大学
- 座右の銘:出来る出来ないではなく、やるかやらないか
- 抱負:周りを見て今自分がやるべきことを判断し、薬剤師として早く戦力になること

氏名:細川 大輔(ほそかわ だいすけ)

- 施設名:東近江総合医療センター
- 出身大学:大阪医科薬科大学
- 座右の銘:泰然自若
- 抱負:患者さんのためにという気持ちを忘れず、頑張りたいと思います。

氏名:宮崎 麻由(みやざき まゆ)

- 施設名:東近江総合医療センター
- 出身大学:大阪医科薬科大学
- 座右の銘:千里の道も一歩から
- 抱負:1日も早く患者様に寄り添える薬剤師になるために日々精進致しますのでよろしくお願ひ致します。

氏名:白根 弘基(しらね ひろき)

- 施設名:紫香楽病院
- 出身大学:大阪大谷大学
- 座右の銘:有言実行
- 抱負:四月より紫香楽病院に配属になりました白根弘基と申します。まだまだ半人前ではありますが先生方の教えの下、日々の業務の中で様々な知識や経験を得られるよう頑張りたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

氏名:奥野 結衣(おくの ゆい)

- 施設名:京都医療センター
- 出身大学:京都薬科大学
- 座右の銘:無知は罪なり、知は空虚なり、英知を持つもの英雄なり
- 抱負:知らないことを知り、新しい体験をすることで自分を変えていくことが好きです。医療に従事することは、生涯知識を得て自分を変え続けていくことだと考えております。1年目の新人として、何事も習い、少しでも医療に貢献できるよう精進して参ります。

氏名:築部 涼子(つくべ りょうこ)

- 施設名:京都医療センター
- 出身大学:京都薬科大学
- 座右の銘:継続は力なり
- 抱負:4月より京都医療センターに配属となりました築部涼子です。患者さんに寄り添い、周りの人から信頼される薬剤師になれるよう、先生方から一つでも多くのことを学んでいきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

氏名:藤川 真愛(ふじかわ まな)

- 施設名:京都医療センター
- 出身大学:鈴鹿医療科学大学
- 座右の銘:人事を尽くして天命を待つ
- 抱負:3月より京都医療センターに配属となりました藤川真愛です。至らない点多々あり、先生方にはご迷惑をおかけしていますが、1日でも早く業務に慣れるよう日々精進して参ります。よろしくお願い致します。

氏名:藤井 愛巳(ふじい あい)

- 施設名:舞鶴医療センター
- 出身大学:徳島文理大学香川薬学部
- 座右の銘:努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならば、それはまだ努力とは呼べない。
- 抱負:まずは仕事に慣れたいところですが、常に知識をアップデートしながら日々の研鑽を怠らないように精進していきたいと思います。患者様に寄り添っていけるような薬剤師になりたいと思います。

氏名:塚 若菜(つか わかな)

- 施設名:大阪医療センター
- 出身大学:京都薬科大学
- 座右の銘:日進月歩
- 抱負:4月より大阪医療センターに配属になりました塚若菜と申します。先生方にご指導いただきながら、日々業務に励んでおります。不慣れなことが多くご迷惑をおかけすることも多々ありますが、一日でも早く一人前の薬剤師になれるよう精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

氏名:富永 桃花(とみなが ももか)

- 施設名:大阪医療センター
- 出身大学:京都薬科大学
- 座右の銘:笑う門には福来る
- 抱負:4月より大阪医療センターに配属となりました、富永桃花と申します。慣れないことばかりですが、先生方に支えていただきながら日々業務に励んでおります。患者様や他の医療従事者から信頼していただける薬剤師になれるように、一歩ずつ成長していきたいです。よろしくお願ひいたします。

氏名:堀江 茉依(ほりえ まい)

- 施設名:大阪医療センター
- 出身大学:大阪医科薬科大学
- 座右の銘:何事も最後まで諦めない
- 抱負:4月より大阪医療センターに配属となりました堀江茉衣と申します。初めてのことに不安も大きいですが、先生方のご指導の下、まずは少しでも早く基本業務を身に付けられたらと思います。患者様の不安を取り除けるような薬剤師となれるよう精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

氏名:稲石 千陽(いないし ちはる)

- 施設名:大阪刀根山医療センター
- 出身大学:神戸薬科大学
- 座右の銘:桜梅桃李
- 抱負:4月から大阪刀根山医療センターに配属になりました稲石千陽と申します。まだまだ未熟な点が多くご迷惑をおかけすることもあります。先生方からのあたたかいご指導をいただき日々業務に励んでおります。1日でも早く先生方のように活躍できる薬剤師になれるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

氏名:寺内 涼音(てらうち すずね)

- 施設名:大阪刀根山医療センター
- 出身大学:京都薬科大学
- 座右の銘:後悔先に立たず
- 抱負:4月より大阪刀根山医療センターに配属となりました寺内涼音と申します。まだまだ至らない点もありますが、患者様や先生方に信頼されるような薬剤師を目指し、日々業務に励んでおります。少しでも早く一人前の薬剤師になれるよう精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

氏名:塚谷 真由(つかたに まゆ)

- 施設名:大阪刀根山医療センター
- 出身大学:大阪大谷大学
- 座右の銘:為せば成る
- 抱負:5月から大阪刀根山医療センターにて採用していただきました塚谷真由と申します。病院実習の際お世話になった先生方のように、豊富な知識を持って真摯に仕事に向き合う薬剤師になることが目標です。未熟者ですが、一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名:松尾 弥優(まつお みゆ)

- 施設名:大阪南医療センター
 - 出身大学:大阪大谷大学
 - 座右の銘:継続は力なり
 - 抱負:今年から大阪南医療センターに配属されました。患者さまに信頼される薬剤師を目指して頑張ります！
- よろしくお願いいたします。

氏名:森 祥史(もり よしふみ)

- 施設名:大阪南医療センター
 - 出身大学:神戸学院大学
 - 座右の銘:なんとかなる
 - 抱負:患者さんのサポートできるように頑張ります。
- よろしくお願いいたします。

氏名:山本 梨瑚(やまもと りこ)

- 施設名:大阪南医療センター
- 出身大学:神戸薬科大学
- 座右の銘:人にできて、きみだけにできないことなんてあるもんか
- 抱負:4月より大阪南医療センターに配属となりました山本梨瑚と申します。至らぬ点が多くご迷惑をおかけしていますが皆様のあたたかいご指導のもと日々の業務に励んでおります。先生方からの学びを胸に刻み少しでも早く一人の薬剤師として自立できるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名:山田 紗妃(やまだ さき)

- 施設名:神戸医療センター
- 出身大学:武庫川女子大学
- 座右の銘:昨日の自分より今日の自分
- 抱負:4月より神戸医療センターに配属となりました山田紗妃と申します。先生方の温かいご指導のもと、日々の業務に励んでおります。まだまだ至らない点も多くありますが、早く業務に慣れて先輩の先生方のように患者様からも他の医療従事者の方からも信頼される薬剤師になれるように精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

氏名:石橋 都(いしばし みやこ)

- 施設名:姫路医療センター
- 出身大学:大阪医科薬科大学
- 座右の銘:初志貫徹
- 抱負:4月より姫路医療センターに配属となりました石橋都と申します。至らない点が多くご迷惑をおかけしておりますが、先生方の温かいご指導のもと日々業務に励んでおります。患者様や他職種の方から信頼される薬剤師になれるよう日々精進いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

氏名:松浦 加奈子(まつうら かなこ)

- 施設名:やまと精神医療センター
- 出身大学:広島国際大学
- 座右の銘:放輕鬆、做自己(Take it easy, be yourself)
- 抱負:4月より、やまと精神医療センターに配属となりました松浦加奈子です。患者さんの言葉に耳を傾け、背景を想像し、患者さんの思いを汲み取れるような薬剤師になれるように、地道にコツコツ頑張っていきたいと思います。何卒よろしく願いいたします。

氏名:新垣 遼太(しんがき りょうた)

- 施設名:南和歌山医療センター
- 出身大学:摂南大学
- 座右の銘:明鏡止水
- 抱負:四月より南和歌山医療センターに配属となりました新垣遼太と申します。薬剤師として働く中で関わる全ての方と真摯に向き合い、少しずつではありますが成長していけたらと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

氏名：増田 大輝(ますだ たいき)

- 施設名：南和歌山医療センター
- 出身大学：摂南大学
- 座右の銘：雨垂れ石を穿つ
- 抱負：4月より、南和歌山医療センターに配属となりました増田大輝と申します。臨床の知識やスキルについて至らない点が多いですが、先生方の温かいご指導の下、日々業務と勉強に励んでおります。今後、誇りを持って業務を遂行できる薬剤師となれるよう、精一杯頑張ります。

氏名：水本 麻都香(みずもと まどか)

- 施設名：南和歌山医療センター
- 出身大学：摂南大学
- 座右の銘：一念天に通ず
- 抱負：4月から南和歌山医療センターに配属になりました水本麻都香と申します。まだまだ至らない点も多いですが、先生方の温かいご指導のもと、日々業務に励んでいます。これからも日々の経験や失敗、先生方から教えていただいたことから学び、薬剤師の先生方だけでなく、他職種の先生方にも頼られるような薬剤師になれるよう頑張ります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

氏名：岡本 春香(おかもと はるか)

- 施設名：和歌山病院
- 出身大学：神戸学院大学
- 座右の銘：一芸は道に通ずる
- 抱負：4月から和歌山病院に配属となりました岡本春香と申します。先生方の温かいご指導の下日々業務に励んでおります。まだまだ至らぬ点も多くありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名：岩崎 恵(いわさき めぐみ)

- 施設名：国立循環器病研究センター
- 出身大学：武庫川女子大学
- 座右の銘：①牛の歩みも千里
②失敗したら笑ってみる
- 抱負：学んだことを少しでも医療や患者様、職場の皆さまのために発揮できるよう頑張ります。

氏名:吉田 早紀(よしだ さき)

- 施設名:国立循環器病研究センター
- 出身大学:近畿大学
- 座右の銘:凡事徹底
- 抱負:2025年2月より入職しました吉田早紀と申します。薬剤部だけでなく他職種の方々からも信頼され、一人でも多くの患者さんの役に立てる薬剤師を目指し日々努力していきます。今後とも宜しくお願ひ致します。

氏名:林 薫子(はやし かおるこ)

- 施設名:国立循環器病研究センター
- 出身大学:大阪医科薬科大学
- 座右の銘:人事を尽くして天命を待つ
- 抱負:3月より、国立循環器病研究センターで勤務することになりました林 薫子と申します。至らぬ点ばかりですが、先生方にご指導いただきながら日々多くを学び、充実した毎日を過ごしております。今後は、一日でも早く一人前の薬剤師となれるよう精進してまいりますので、これからご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

氏名:立花 京子(たちばな きょうこ)

- 施設名:国立循環器病研究センター
- 出身大学:大阪薬科大学
- 座右の銘:一期一会
- 抱負:昨年10月より国立循環器病研究センターに非常勤薬剤師として入職しました。分からない事も多く、先生方にご指導して頂きながら頑張っております。人との関わり合いを大切に今後も頑張りたいと思います。

氏名:黒田 紗世(くろだ さよ)

- 施設名:国立循環器病研究センター
- 出身大学:摂南大学
- 座右の銘:意志あるところに道は開ける
- 抱負:この度国立循環器病研究センターに入職しました黒田紗世です。まだまだ至らない点も多くご迷惑をおかけするかと思いますが、少しでも頼りになるよう日々精進する所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

氏名 池田 朱里(いけだ あかり)

- 施設名:国立循環器病研究センター
- 出身大学:近畿大学
- 座右の銘:初心忘るべからず
- 抱負:4月から国立循環器病研究センターに薬剤師レジデントとして採用いただきました池田朱里と申します。至らない点が多く、先生方にはご迷惑をおかけしていますが、日々精進し、自分で考えて動くことができる薬剤師になりたいです。

氏名:大森 ゆい菜(おおもり ゆいな)

- 施設名:国立循環器病研究センター
- 出身大学:金沢大学
- 座右の銘:頭に知識を、心に余裕を。
- 抱負:1日でも早く一人前の薬剤師になれるように頑張ります！

第 20 回 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 参加報告

兵庫中央病院 遠藤 森理

2025 年 3 月 8 日(土)に開催された第 20 回近畿国立病院薬剤師会学術大会について報告いたします。

今回の学術大会は oVice(2D メタバース)を用いた仮想空間での開催となりました。昨年の V-expo(3D メタバース)とは異なり、口頭発表・質疑応答・歓談を行うエリアが一つの平面空間にまとまっており、アバターの移動操作を簡単に行うことができました。また、昨年は通信不良によるものか入室に苦勞し混乱してしまいましたが、今回は開始から終了まで大きなトラブルなく参加することができました。

今回の学術大会では計 15 名の先生方が発表されました。口頭発表ではパワーポイントスライドが全画面に映し出され、スライドを閲覧しながら発表内容を聞くことができました。その後の質疑応答では、各演題ブースに入ることでスライドの再確認ができ、演者と音声によるコミュニケーションがとれました。拍手などのリアクション機能も充実しており、画面以上の臨場感を味わうことができました。

当院からは松田先生が「長期療養病床におけるカルバペネム系抗菌薬開始時の培養検査実施状況：一般病床との比較調査」について発表されました。当院の抗菌薬使用状況や血液培養の必要性、検査実施率について一般病床と長期療養病床間の比較が簡潔にまとめられており、特別賞の受賞となりました。また、他施設の症例や取り組みについて学ぶことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。発表された内容から得た知識を今後の業務に活かしていきたいと思えます。

最後になりますが、学術大会の開催・運営に携わっていただいた先生方に感謝申し上げます。

第 20 回 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 特別賞受賞報告

兵庫中央病院 松田 洋佳

2025年3月8日(土)に開催された第20回近畿国立病院薬剤師会学術大会において、「長期療養病床におけるカルバペネム系抗菌薬開始時の培養検査実施状況:一般病床との比較調査」について発表させていただき、特別賞を受賞することができましたので、ご報告いたします。

私は2024年4月に兵庫中央病院に入職し、同年10月から病棟業務を担当するようになりました。調剤業務のみの時と比べ、患者1人1人について深く調べる機会が増えました。調べるうちに一般病床と長期療養病床の患者で抗菌薬開始時の血液培養採取率に違いがあるのではないかと感じました。また、当院において2023年度の抗菌薬使用量第1位がカルバペネム系抗菌薬であったことから、本調査ではこの抗菌薬に着目し、比較調査を行いました。電子カルテよりデータを収集・分析する中で、なぜこの抗菌薬が使用されるのか、感染部位、培養検査の実施状況など、調剤業務ではなかなか得られない情報に触れることができました。また、腎機能や肝機能の評価を行うために血液検査の結果を確認する機会が多いものの、検査を行うために必要な採血量や、抗菌薬開始時に実施される検査の種類については、深く考えておりませんでした。さらに、文献を調査する中で血液培養の結果が抗菌薬の適正使用だけでなく、血流感染症の早期診断や de-escalation による薬剤費軽減にも活用されていることを知りました。これまで1つの抗菌薬に焦点を当てる機会がなかったため、この調査を通じて、日々の業務では得られなかった多くの情報を得ることができ、大変有意義な経験となりました。私自身、抗菌薬についてまだまだ理解が不十分な点が多くありますが、病棟業務を通じて他職種に血液培養の重要性を説明し、抗菌薬の適正使用に貢献できるよう努めていきたいと考えています。

入職後初めての発表であったため、カルテを使用したデータ収集や解析、2D メタバースの使用方法に戸惑うことも多々ありましたが、共同演者の先生方をはじめ、兵庫中央病院薬剤部の先生方や、薬剤師会運営の先生方のご協力とご指導により無事発表を終えることができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会 参加報告

国立循環器病研究センター 若林 智仁

2025年1月25日、26日に神戸国際展示場にて開催されました、第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会にて、発表を行いましたので報告いたします。

現在、私はASTの専従として活動しており、それに関連して、「当院におけるセフィデロコルの使用状況および安全性の調査」について発表させていただきました。セフィデロコル(フェトロージャ®)の適応は、「カルバペネム系抗菌薬に耐性を示す菌株」となっており、薬剤耐性菌に対して用いられる新規の作用機序を持つ抗菌薬です。日本では2023年12月10日に薬価収載され、当院では2024年3月にセフィデロコルが新規に採用されました。許可制の抗菌薬としてASTを中心に管理しています。新規の抗菌薬であり、また近年は薬剤耐性について問題視される機会も多く、3例と少ない症例数ではありましたが発表させていただきました。

「サイエンスの視点で医療の変化を越える」という学会のテーマで、薬剤師の知識を深めるだけでなく、より視野の広がる学会だったと感じました。今回の学会で一番印象に残ったものとしては、シフトの自動化についてのセミナーでした。私はまだ5年目なので、シフトを作成する立場ではありませんが、そのセミナーの中では「非属人化」という言葉が繰り返し用いられていました。「非属人化」というところは、普段の仕事にもおいても重要な部分と感じました。専門性を発揮することも薬剤師の重要な役割ではありますが、同じ薬剤師、誰でもできるシステムを作る、環境を整えるということも、業務を継続していくうえで大切に感じました。



私自身まだまだ携わったことのない業務が多くありますので、当院でも、いつかの異動先の病院でも、初めて携わる業務に取り掛かりやすくなるようなシステムの構築や、情報の共有などがより活発になるよう、自らも率先して取り組んでいきたいと感じました。

学会発表は、レジデントの時を含めこれで3回になりますが、過去の学会でお世話になった先生方や、異動された先生、業務を行う中で交流を持つことのできた他病院の先生、大学時代の部活の後輩など、様々な先生方とお会いすることができました。日常の業務をこなすだけでも大変な日々ではありますが、様々な情報収集や、学会でしか得られない貴重な交流をすることができました。最後にはなりますが、学会発表をするにあたり、ご指導いただきました皆様に感謝申し上げます。

第 46 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 参加報告

大阪南医療センター薬剤部 仲野 真実

2025 年 1 月 25 日、26 日の神戸国際展示場 1・2 号館で第 46 回日本病院薬剤師会近畿学術大会が開催されました。私は、この度「抗菌薬使用量評価(DASC)を用いた院内の抗菌薬使用動向調査」というテーマでポスター発表いたしましたので報告します。

近年、抗菌薬の適正使用を評価するため、各薬剤の使用日数と抗菌スペクトル係数を用いて定量的に示す指標として Days of antibiotic spectrum coverage (DASC)が報告されていますが、国内の医療機関での報告数が限られています。今回は 2015 年 4 月から 2024 年 3 月までの 9 年間、当院で静脈注射抗菌薬の処方を対象に感染対策連携共通プラットフォーム(J-SIPHE)を用いて抗菌薬使用密度(AUD)、抗菌薬使用日数(DOT)、DASC を算出し、使用動向について発表させていただきました。

今回の学会発表を通して、DASC は新しい指標でありまだまだ浸透していない影響か、自身が想像しているよりも多くの他施設の先生から質問をいただき、興味のある先生が多い印象でした。たくさん質問をしていただくことで自身になかった視点に気づくことができ、様々なことを学ぶことができました。また、お互いの施設の取り組み等について情報共有をでき非常に有意義な学会発表となりました。今回の経験をいかして今後も AST 活動に努めていきたいと考えております。

最後になりましたが、今回の発表に携わっていただきました先生方には多くのご指導ご鞭撻をいただき大変感謝しております。厚く御礼申し上げます。

第40回日本栄養治療学会学術集会 参加報告

大阪医療センター 東 里映

2025年2月14日(金)から2025年2月15日(土)に、神奈川県のパシフィコ横浜にて第40回日本栄養治療学会学術集会が開催されました。今回、ポスター発表にて参加しましたのでご報告させていただきます。

私は「当院におけるアナモレリン投与開始時期の検討」について発表させていただきました。今回の発表における「当院」は、異動前の施設である東近江総合医療センターを示しています。私は2025年4月に東近江総合医療センターから大阪医療センターへ異動となりましたが、異動前より発表の構想を練っていたため、今回発表することに決めました。



がん悪液質は生存率に影響を及ぼすため、集学的な早期介入が推奨されています。当院では2021年7月アナモレリンが採用となりましたが、投与しても効果不十分であったり、状態の悪化により投与中断となる症例が多くありました。アナモレリン投与開始時期が遅いのではないかとクリティカルクエスチョンをもち、当院でのアナモレリン投与症例における開始時期と効果について検討を行いました。

ポスター発表後の質疑応答では様々な質問をいただき、また同じような疑問をもつ病院薬剤師の先生方と意見交換することができました。今回の発表は異動前の東近江総合医療センターの症例で行いましたが、機会があれば現職場の大阪医療センターの症例でも検討したいと思います。

学会の現地参加での楽しみは、他職種との交流・食事です。まず、他職種との交流では、今回の発表でお世話になった医師・栄養士だけではなく、他の病院の薬剤師と意見交換することができました。他の病院の現状や取り組みを知ることができ、今後の業務に活かしていきたいと思いました。また、食事では、横浜中華に舌鼓を打ちました。春節の時期でしたので各所に飾られているランタンを楽しみながら、横浜を満喫することができました。

この場を借りて、今回の発表にご協力いただきました、東近江総合医療センターの皆様にご挨拶申し上げます。



私が HIV 感染症専門薬剤師の資格を取得した経緯

大阪医療センター 中内 崇夫

私が HIV 感染症専門薬剤師の資格取得を目指したのは、日々の業務の中で HIV 陽性の患者さんに関わる機会が増え、その治療の難しさと薬剤師としての関わりの深さを感じたことがきっかけでした。

HIV 治療は年々進歩しており、現在では治療をしっかり継続することで、ウイルス量を抑えながら長く元気に過ごせるようになっていきます。ただし、抗 HIV 薬は種類が多く、相互作用や副作用への注意が必要ですし、何より服薬をしっかり続けていただくための支援が欠かせません。その中で、薬剤師の関与がとても重要だと実感するようになりました。

ある患者さんに、副作用が心配で服薬に消極的になっている方がいらっしゃいました。生活スタイルを丁寧に伺いながら、無理のない服薬スケジュールと一緒に考え、医師とも相談して対策を立てた結果、その方が前向きに治療を続けられるようになったことがありました。この経験を通じて、「もっと専門的に関わっていきたい」と思うようになりました。

そこで、HIV 感染症専門薬剤師の資格取得を目指すことにしました。この資格を取得するには、薬剤師免許を持ち、日本病院薬剤師会に所属していることが前提となります。そのうえで、HIV 感染症に関わる業務経験が 2 年以上必要で、指定された研修や講習会の受講、HIV 症例に対する薬学的介入の報告書提出、上司の推薦書の提出など、いくつかの条件をクリアする必要があります。

実際に取り組んでみると、研修や講習を通じて学ぶことは非常に多く、実務と結びついた内容ばかりで刺激的でした。また、症例をまとめて振り返る作業では、自分の介入が患者さんにどう影響したのかを改めて考えることができ、自己成長にもつながったと感じています。

現在は、院内の HIV 診療チームの一員として、処方提案や副作用の対応、服薬支援などを行いながら、より良い治療をサポートできるよう日々努めています。HIV は今でも社会的な偏見や不安とともにある病気です。薬剤師として、そうした部分にも寄り添いながら、信頼される存在でありたいと考えています。

これからも、HIV 治療の進歩にしっかりとついていけるように、知識と経験を積み重ねていきたいと思っています。そして、同じように HIV 医療に関わる薬剤師の仲間が増えていくよう、少しでも力になれば嬉しいです。

趣味のページ

東近江総合医療センター 土江 亜季

川上先生からバトンをいただきました。数年間一緒に過ごした大阪南医療センターではたくさん助けていただき、本当にありがとうございました。今は違う施設にいますが、昨年からともに新天地で頑張っている仲間として、これからも一緒に頑張りましょう。

では、なんやかんやで食べるのが一番好きかもしれないので、旅行気分も一緒に味わえる最近食べてよかった海外グルメをご紹介します。



まずベトナム料理です。ベトナムは過去にフランス領だった影響もあり、どこでフランスパンを食べてもだいたいおいしいと聞いたことがあります。そんなフランスパンでできているのが、バインミーというサンドイッチです。表面が薄くパリッとしたフランスパンに、肉厚のハムと酢漬けた野菜とパクチーとチリソースがサンドされています。酢漬けた野菜が爽やかなせいなのか、見た目の大きさに反して胃もたれせず、胃弱の同胞にはぜひおすすめしたいです。近鉄竹田駅最寄りの京都製パンでいただけます。店でフランスパンから作っていて、こだわりが詰まっています。本当においしいです。



次はシリア料理です。ピタパンとナンの間みたいなシャミーというパンは、1枚で足るだろうと思いきや、これにフムス(ひよこ豆のペースト)をつけて食べ、ババガヌーシュ(ナスのディップ)をつけて食べ、ラブネ(水切りヨーグルト)をつけて食べ、を繰り返すといつの間にかおかわりして2、3枚を食べてしまいます。パンの種類もいろいろあり楽しいですし、ケバブやファラフェルという豆のコロッケも大変おいしいです。全体的にスパイスは効いているものの、やたらに濃い脂っこい味付けではなく、野菜や肉をバランスよく食べられる料理という印象です。日本人の舌にもよく合うのではないのでしょうか。JR大住駅最寄りのサハラムーンという店に行きました。



最後は中国蘭州発祥の蘭州牛肉麺。蘭州はムスリムが多く住む地域らしく、牛骨牛肉のスープというのが納得です。牛のエキスが詰まったスープには薄切りの大根や手延べ麺が入っており、これらにラー油が絡むとよい塩梅のピリ辛で大変おいしいラーメンです。散らしたパクチーが効いていてエスニックな風味もあります。近鉄日本橋駅近くの伊蘭香という店に行きましたが、店内は賑やかで本場の雰囲気のようなものを感じます。

ごはんの話をしていたら、いつもお昼ごはんのときに楽しくお話してくれた大阪南医療センターの仲野先生のことを思い浮かびましたので、次回をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

編集後記

♪春風が心地よい季節となり、街中には新緑が広がり始めました。新年度が始まり、日々の忙しさの中にも少しずつ新しいリズムが整ってきた頃でしょうか。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

♪近年、AI が普及し情報整理や業務支援の場面でその存在を感じるが増えてきました。我々薬剤師業務にも AI の活用が進み業務の効率化や新たな発見にもつながることを願うばかりです。

♪本号では新たにご着任された先生方からの自己紹介をご寄稿いただいております。いずれも大変読み応えのある内容となっておりますので、ぜひ最後までご覧いただければ幸いです。お忙しい中、ご寄稿いただいた先生方に心より御礼申し上げます。

(T.N.)

近畿国立病院薬剤師会会誌	第八十二号 令和七年五月発行
発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局 (独立行政法人国立病院機構神戸医療センター薬剤部内)	神戸市須磨区西落合 3-1-1
発行人 会長 本田 富得(神戸医療)	
編集 広報担当理事 中野 一也(大阪南医療)	
広報委員 佐々木 祐太(大阪南医療)	
	野田 拓誠(大阪医療)
	正木 美有(循環器病研究)